Creative Enzymes®

ラット由来のプロテインキナーゼG II、組換え型

Cat. No. NATE-0581

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プロテインキナーゼ G II (cGK-II) は、ラットの腸に見られる膜関連のcGMP依存性プロテインキナーゼです。この製品は、バキュロウイルスに感染したSf 9細胞から分離された組換えラットアイソフォームです。
別名	cGK-II; 3':5'-サイクリックGMP依存性プロテインキナーゼ; cGMP依存性プロテインキナーゼII; プロテインキナーゼG II; PRKG2; プロテインキナーゼ、cGMP依存性、タイプII; cGMP依存性プロテインキナーゼ2; PKG2

製品情報

種	ラット
由来	バキュロウイルスに感染したSf9細胞
形態	解決策
純度	>90% (SDS-PAGE)
活性	~0.7 U/mg
代謝□路	ギャップジャンクション、特定生物のバイオシステム; ギャップジャンクション、保存されたバイオシステム; 止血、特定生物のバイオシステム; 長期抑□、特定生物のバイオシステム; 長期抑□、保存されたバイオシステム; 一酸化窒素はグアニル酸シクラーゼを刺激する、特定生物のバイオシステム; 嗅□伝達、特定生物のバイオシステム
機能	ATP結合; cGMP結合; cGMP依存性プロテインキナーゼ活性; ヌクレオチド結合; プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性
単位定義	1ユニットはpH 7.4で1分あたり1μモルのVASPtide（RRKVSKQE）をリン酸化します。